

イネツトムシ (rice skipper)

Parnara guttata



イネツトムシ幼虫

発生生態

幼虫が数枚のイネの葉を綴り合わせて、円筒状のツト（巣）を作り、昼間はこの中にひそみ、夜間には出て葉を食害します。6月から10月にかけて1年間に3～4回発生します。被害株は穂が出なくなったり、品質が落ちて収穫量が減ります。成虫はイチモンジセセリと呼ばれるチョウチョウです。

防除対策

葉先が小さく巻き始める頃から円筒状のツトを確認したら、薬剤防除を行いましょう。

中から終齢幼虫は、薬剤に対する防除効果が弱くなるので幼虫が小さい時期に防除を行いましょう。